

臨床研究実施に関するお知らせ

金沢医科大学 形成外科学 金子 貴芳

私たちは「過去 20 年間の顎裂骨移植患者の検討」という臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

研究課題名 当院における過去 20 年間の顎裂骨移植患者の検討

研究の意義・目的 顎裂手術の主な目的は歯列の矯正、咬合の改善であり、そのために顎裂部へ自家腸骨海綿骨移植が行われます。当院で施行された顎裂骨移植患者さんを調査することによって、骨移植の生着に関わる因子などを検討し、今後の顎裂骨移植手術に還元できると考えています。

研究の対象者・研究期間

本研究では、2001 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日までに当院で顎裂骨移植を施行された 243 名を対象とさせていただきます。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025 年 3 月 31 日まで

研究の方法・研究に用いる試料・情報の種類

診療録(電子カルテ)を用いて、後方視的に検討します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。電子カルテより、性別、術前後の画像所見、追加骨移植の有無、合併症、術後の矯正誘導の状態、手術時年齢、口蓋裂の有無、術前矯正の有無、手術時の犬歯の萌出の有無についての情報を抽出します。上記期間中に得られた情報やデータを本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

研究機関 金沢医科大学

研究に関するお問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

またデータや情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

お問い合わせ先

金沢医科大学 形成外科学 金子 貴芳

住所：〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1

電話：076-286-2211 (内線 6526)

研究責任者

金沢医科大学 形成外科学 金子 貴芳

2021 年 1 月 13 日作成